

高浜発電所 1、2号炉 審査会合における指摘事項の回答一覧表

(1) 本日回答

No	指摘事項	回答
0315-1 特別点検	原子炉格納容器の塗装について、事故時の剥落性状とサンプスクリーンへの影響評価について整理すること。	平成 28 年〇月〇日 資料〇-〇
0315-2 耐津波安全性 評価	改良地盤の経年変化について	平成 28 年〇月〇日 資料〇-〇

(2) 回答済

No	指摘事項	回答
0721-1 共通事項	申請案件が輻輳する中で、リソースを考慮してどのように品質を確保した申請対応を行うのかを説明すること。	平成 27 年 9 月 29 日 資料 1-2
0721-2 RV 特別点検	原子炉容器に対する予防保全措置を含む補修実績と保全活動について整理すること。	平成 27 年 9 月 29 日 資料 1-2
0721-3 RV 特別点検	原子炉容器内が汚れにより視認性を阻害していない状態であることのエビデンスを示すこと。	平成 27 年 9 月 29 日 資料 1-2
0721-4 CV 特別点検	格納容器に対する過去の点検補修履歴について確認整理すること。また、母材まで影響のあった実績があるのかを確認すること。	平成 27 年 9 月 29 日 資料 1-2
0721-5 CV 特別点検	格納容器に対する現状保全の考え方について示すこと。	平成 27 年 9 月 29 日 資料 1-2
0929-1 CV 特別点検	格納容器サンプスクリーンの事故時機能に係る格納容器塗装の劣化を考慮した影響について整理すること。	平成 27 年 12 月 10 日 資料 1-2
0929-2 低サイクル疲労	延長しようとする期間を実績過渡回数に基づく疲労評価としている考え方と評価における余裕について整理すること。	平成 27 年 12 月 10 日 資料 1-2
0929-3 IASCC	高経年化対策として今後も継続するとしている目視点検の考え方、炉内構造物取替えの考え方を整理すること。	平成 27 年 12 月 10 日 資料 1-2

0929-4 コンクリート強度等	1次遮蔽壁の温度解析における最高温度の保守性について、解析手段の観点から整理すること。	平成27年12月10日 資料1-2
1210-1 CV特別点検	高浜1, 2号炉の長期供用を経た原子炉格納容器の塗装に対して実施した付着力等の試験データから性能について確認した結果を示すこと。	平成28年3月15日 資料1-1-2
1210-2 CV特別点検	原子炉格納容器の塗装について、塗装時の施工が塗装の性能に与える影響について整理すること。	平成28年3月15日 資料1-1-2
1210-3 CV特別点検	原子炉格納容器の塗装（DBA試験に合格した仕様のもの）の重大事故等時（SA時）の温度等環境下での性能維持について示すこと。	平成28年3月15日 資料1-1-2
1210-4 CV特別点検	原子炉格納容器の塗装の点検に対し、米国で適用されている規格（ASTM）の力量要件に対する評価について整理すること。	平成28年3月15日 資料1-1-2
1210-5 低サイクル疲労	今後発生する過渡回数を1回としている事象が疲労累積係数に与える影響を示すこと。	平成28年3月15日 資料1-1-2
1210-6 中性子照射脆化	高浜1号炉の第4回試験片の照射量（約5.1EFPY）が原子炉容器の約7.2年に相当するとした計算内容を説明すること。	平成28年3月15日 資料1-1-2
1210-7 中性子照射脆化	上部棚吸収エネルギー（USE）予測値と実測値の関係を整理すること。	平成28年3月15日 資料1-1-2